※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学環境科

教科	学環境	科目	(学) 植物と生活を考える	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、自然環境や人間の営みについて植物を通して考えていく授業です。実際に圃場で農作業をするだけでなく、学校周辺の植物の観察等も行います。植物の観察だけでなく、虫や動物の観察することで、奥深い自然環境の理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

・植物の基本的な生理生態を学び、維持管理や活用方法について理解する。
・農作業を通して、植物や生き物に対する愛着心を持ち、他者と協力することで安全性や適切な行動について判断する力を養う。
・自然の変化や多様性を主体的に学び、自身の生活において積極的に活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	園芸一般の技術である耕耘、畝作り、水やり、種播きなどに関する知識・技能を習得する。 基本的な樹木の同定方法を理解している。 自然の植物と人間生活との関わりについて理解している。	実習で取り組むべき作業の意図を理解し、適切に行動に移すことができる。 農作業の際、他者と協力しながら安全に作業を行うために必要なことを判断し、行動することができる。	圃場での農作業において、積極的に取り組むことができる。 樹木の観察、植物を用いた工作などの実習において前向きに取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	自然環境	・植物の基本的な生理生態について。 ・植物の維持管理方法を学ぶ。 ・植物の株分けや間引きのしくみを学習する。 ・木材の利用方法や工芸の楽しさ、面白さを学ぶ。 ・自然環境に生息する植物やその移り変わりについて。	a:植物の基本的な生理生態、維持管理方法に関する知識を習得している。木工細工において、工具を適切に使用することができる。 b:農作業の際、他者と協力しながら安全に作業を行うために必要なことを判断し、行動することができる。 c:圃場での農作業において、積極的に取り組むことができる。 樹木の観察、植物を用いた工作などの実習において前向きに取り組むことができる。	・課題レポート ・観察等	・課題レポート ・観察等	・課題レポート ・授業での取組み ・観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度